

交通事故にあわないためには

白山市立松南小学校 大谷 真緒

みなさんは交通事故と聞いて、どのようなことを思いうかべますか。こわいと思う人が多いと思います。私は以前、車にひかれそうになったことがあります。そのときは、とてもこわい思いをしました。こんなにこわい思いをする人をなくしたいので、この発表を聞いて、たくさんの人に交通事故にあわないために大切なことをひろめてほしいと思います。

石川県の一年間の自転車事故の件数は、259件です。これは、一年間の交通事故の約14パーセントにあたります。

では、自転車事故にあってしまうとどのようなけがが起こるのでしょうか。打ぶくやねんざだけでなく、脳や背骨をケガすることで会話ができなくなったり体が動かなくなったりしてしまうこともあります。そうすると、今私たちが過ごしている当たり前の毎日を過ごすことができなくなってしまいます。

このように、交通事故は私たちの「当たり前の毎日」を簡単にこわしてしまいます。ゲームをしたり友達と遊んだり、毎日楽しいこと楽しみなことがたくさんあります。こんな毎日をこわしてしまう交通事故にあわないためには、交通ルールをしっかりと守ることで、一人一人が安全を意識して過ごすことで交通事故を減らすことができます。学校では、6年生として、自分がルールを守りお手本の姿を見せるだけでなく、危ないことをしている子がいたら注意したり、ルールを守ることの大切さを伝えたいです。また、林中という地区では交通安全を広めるポスターを作っているので、ポスターで広めるのも効果があると思います。

この発表をと通して、あらためて交通事故のこわさについてかんがえることができました。みなさんも一度「交通事故にあわないためには」を考えてみたらどうでしょうか。